

小平市福祉のまちづくり推進計画(素案)に対する市民意見の反映状況

意見の概要	意見への対応	反映状況
◆地域の交通について		
地域のバスを運行して欲しい。コミュニティバスが困難であれば、福祉バスの運行をして欲しい。	移動制約者に対しては、リフト付乗用車運行やタクシー利用の補助やガソリン費の補助を行い移送手段の確保に努めていきます。また、NPOによる福祉有償運送事業を実施した支援を併せて行っています。	反映済み
◆道路整備について		
歩道の幅が狭く、すれ違うことも非常に困難な場所がある。	連続した平坦な道路や歩道にするための道路などの整備を計画的に進めていきます。	反映済み
◆情報発信について		
普段、福祉サービスを受けていない者にとっては、自分がいざとなった時、どのような福祉のサービスを受けることができるのかわからないことが多い。福祉サービスを既に受けている知り合いから聞いて、いろいろなサービスがあることを知る状況である。	福祉サービスについては、市報や各種刊行物を活用して、周知に努めます。	参考意見
◆協働・連携について		
市内には福祉系の大学もあるため、連携方法を考えて欲しい。	大学に限らず、地域にある関連施設などとの連携体制を日ごろから築き上げていくことが、地域の見守りや地域力として大きな力を発揮するものと期待されているため、連携を検討していきます。	趣旨を反映
学生が活躍できる場を確保してあげて欲しい。	学生が、地域社会で活躍できる場を検討することが地域での連携に必要であると考えます。	参考意見
市と社会福祉協議会との関係が不明確。市民活動をしている人達も分からないことがある。関係図などを用いて分かりやすく表記して欲しい。	地域福祉活動を担っている社会福祉協議会との連携は不可欠であると考えます。	特に計画に反映しない

小平市福祉のまちづくり推進計画(素案)に対する市民意見の反映状況

<p>市民協働を支援する方法やその宣伝が十分ではない。</p>	<p>福祉のまちづくり啓発用のパンフレットを作成し、市民に対し普及・啓発活動に努めていきます。</p>	<p>反映済み</p>
<p>市内には精神科の病院がある。この病院と連携して福祉事業を推進していくことも必要だと思う。新しい小平のセールスポイントを見出すことも必要であるとする。</p>	<p>病院に限らず地域にある関連施設などとの連携体制を日ごろから築き上げていくことが、地域の見守りや地域力として大きな力を発揮するものと期待されているため、連携を検討していきます。</p>	<p>趣旨を反映</p>
<p>福祉施設を評価し、各々の施設を活かしていくことが大切である。</p>	<p>福祉施設に限らず地域にある関連施設などとの連携体制を日ごろから築き上げていくことが、地域の見守りや地域力として大きな力を発揮するものと期待されているため、連携を検討していきます。</p>	<p>趣旨を反映</p>
<p>◆地域について</p>		
<p>地域のつながりが薄れてしまっているが、近所の付き合いが大切であると思う。 「向う三軒両隣」を制度化させて欲しい。このようなことを市が先導して施策として打ち出せないか。</p>	<p>地域活動を実施している社会福祉協議会、NPO、ボランティアなどと連携して、それらの力を活かした地域づくりを行っています。</p>	<p>趣旨を反映</p>
<p>自治会の活動もいろいろとある。住民参加と言われているが、まだ、十分に行われていない。もっと自治会を活性化しなければならないと思っているが、その方法が分からない。</p>	<p>自治会の活性化のための支援や普及啓発活動を行っています。</p>	<p>反映済み</p>
<p>身近な見守りや声かけが非常に大切だと感じているが、どこで、どのようにしていいのか方法が分からない。これらのことを組織的に行っていくことを考えることはできないものかと感じている。</p>	<p>ユニバーサルデザインを基本とした福祉のまちづくりの理念を理解・認識するとともに、高齢者や障がいのある人などに関する知識を深めるための普及・啓発が必要であると考えます。 地域ごとに見守り支え合うための基盤づくりを市民・事業者・行政が協働して行うことで、すべての市民が住みやすい環境づくりを目指します。</p>	<p>参考意見</p>
<p>◆防災について</p>		
<p>精神障がい者の災害避難所確保の問題があり、まず、この避難場所を確保してもらうことが大切である。市内には精神科の病院もあるので、そこと連携をして欲しい。阪神・淡路大震災時、薬が確保できず、精神障がい者の病状が悪化した事例があった。</p>	<p>災害時要援護者の避難方法や避難場所などについて検討を行っています。また、災害時や犯罪時に対応するための地域づくりの普及・啓発活動を行っています。</p>	<p>反映済み</p>

小平市福祉のまちづくり推進計画(素案)に対する市民意見の反映状況

◆相談窓口について		
<p>現行計画でも示されているが、福祉のまちづくり窓口がどのようになっているのか。はっきりと「福祉のまちづくりの窓口」と明記するなど、窓口を明確にして欲しい。</p>	<p>福祉のまちづくり推進計画に関する窓口は、健康福祉部高齢者福祉課となります。</p>	<p>反映済み</p>
◆ユニバーサルデザインについて		
<p>ユニバーサルデザインの考え方を基本とした福祉のまちづくりの推進に寄与するため、建築物や公共交通などにどのように反映させていったらよいか、情報の共有の仕組みづくりも視野に入れてまとめ、具体的な推進策の検討をして欲しい。</p>	<p>5. 福祉のまちづくりの施策の推進において、ハード面とソフト面それぞれの整備の推進事業を示しています。</p>	<p>反映済み</p>
<p>ユニバーサルデザインの説明が必要である。また、この解説があれば、より理解が得られると思う。</p>	<p>本文中で説明するだけでなく、巻末の用語の説明においても、「ユニバーサルデザインの7原則」を用いて補足説明しています。</p>	<p>反映済み</p>
◆バリアフリーについて		
<p>精神障がい者の理解が現状では非常に不十分である。誰もがかかる病気であるため、みんなで考えていくことのできる体制にしたいと思う。</p>	<p>地域における福祉のまちづくりのため、施設整備や地域環境など、障がいのある人もない人も子どもから高齢者まで全ての市民が住みやすい環境作りを目指していきます。</p>	<p>趣旨を反映</p>
<p>「ハード面」に関するバリアフリーに振り回されていると思う。</p>	<p>ハード面だけではなく、ソフト面となる制度や仕組み、情報の発信、福祉教育の普及・啓発など、ハード面とソフト面の両面から福祉のまちづくりを推進していきます。</p>	<p>反映済み</p>
<p>鉄道駅のバリアフリー化をして欲しい。</p>	<p>鉄道事業者と話し合い整備に向けて検討していきます。</p>	<p>反映済み</p>
◆計画全般について		
<p>高齢者だけにとらわれ過ぎていると、他の対象者に関することが十分ではなくなってしまうような気がして心配である。</p>	<p>対象者を高齢者だけと限定的にとらえるのではなく、障がいのある人もない人も、子どもから高齢者まで幅広く対象としています。</p>	<p>反映済み</p>

小平市福祉のまちづくり推進計画(素案)に対する市民意見の反映状況

<p>策定期間が10年間であるため、計画で示されている事業の進捗状況の確認や見直し作業を行って欲しい。</p>	<p>庁内の関係部署との連絡体制を確立し、推進事業の進行管理を行っていきます。</p>	<p>反映済み</p>
<p>市民には福祉のまちづくりにかかる予算がどのくらいあり、また、財源の評価はどのようになっているのか不明である。</p>	<p>各課において年度ごとのサービス量を適切に見込むとともに、各事業の推進にあたり必要な財源措置をしていきます。なお、福祉のまちづくりにかかる事業経費は事務事業評価の対象になります。</p>	<p>趣旨を反映</p>
<p>素案は読んでよくわからない。ごく平均的な市民が読めばわかるように整理してわかりやすくまとめる工夫をして欲しい。</p>	<p>市民の皆さんにご理解いただけるような平易な表記で文章を構成するように努めました。</p>	<p>反映済み</p>
<p>素案に示されたこの計画の体系が明確ではなく、内容が整理されていない。読んでどこが幹なのか、どこが枝や葉なのかははっきりしない。</p>	<p>大きな柱として、「施策の基本的方向」、「施策の推進」、「推進体制」を設定し、推進事業について示しました。</p>	<p>趣旨を反映</p>
<p>「5. 福祉のまちづくりの施策の推進」に書かれたものは、新規性も具体的な計画性もまったく見られない。また、耳障りのいいきれいなことばが並んではいるが、当該計画が実効性あるものとして作成されたとはとても思えない。</p>	<p>5. 福祉のまちづくりの施策の推進において、既存事業だけでなく、新規事業についても示しています。また、各事業については各課の事業計画において実効性のある事業として実施していきます。</p>	<p>参考意見</p>
<p>◆その他</p>		
<p>今回の懇談会出席者数を考えると、身近な問題にも関わらず、関心が薄いように感じる。</p>	<p>多くの方が参加できるように、平日の夜に懇談会を実施しましたが、今後は開催のお知らせをする手段などについても、工夫したいと考えています。</p>	<p>参考意見</p>
<p>中・高校生の自転車の乗り方が非常に危険な場合が多い。歩いている人の方がそれらの自転車に遠慮して歩いている感じがする。</p>	<p>交通安全教室や交通安全思想の普及・啓発活動を行っていきます。</p>	<p>反映済み</p>
<p>高齢時代の福祉施策としての住環境整備を考えてもいいのではないかと思っている。</p>	<p>福祉施策の住環境整備については、高齢者保健福祉計画の中で検討をしています。</p>	<p>反映しない</p>
<p>精神障がい者に対する理解促進のため、精神障がい者自身が小学校などへ出向き、当事者のいろいろな話を児童に対して話し、小さいうちから、障がい者に対する正しい理解を促す機会が欲しい。 精神障がい者に対する偏見、差別をなくすためにも、ぜひ行って欲しい。</p>	<p>小学校4年生からを対象に福祉読本の給付を行い福祉教育を実施しています。また、社会福祉協議会においても、子どもボランティアスクールを開催し、福祉教育に取り組んでいきます。</p>	<p>反映済み</p>